

シンナガサキミーティング開催レポート

i n 南小学校区



令和6年1月16日（火）、自治会や育友会、民生児童委員、地元就農者・事業者など17人の皆さんにお集まりいただき、南小学校区の「シンナガサキミーティング」を開催しました。

最初の自己紹介では、地元特産品のびわ生産への想い、移住して感じる地域の素晴らしさ、3月末に閉校する南小学校と地域のつながりの強さ、また、地域で暮らしていく中で感じていることなどをお話いただきました。



いただいたご意見

①南小学校の避難所利用について

南小学校体育館が避難場所になっているが、台風の際は風が強く、ガラスが割れたりする可能性もあるので、校舎を避難所として利用できないか。

また、大崎・千々地区で大人数が安全に避難できる場所が必要ではないか。

市の考え方・回答

南小学校区では、市民の方が徒歩で避難できるよう、「南小学校」のほか、「旧千々簡易郵便局」と「大崎びわ集出荷所」を指定避難所として指定しています。

南小学校は、一定数の避難者を受け入れることができるよう、体育館を避難スペースにしており、台風など風が強い状況の場合は、カーテンや養生テープ等の対応を行っています。

ご意見がありました南小学校の校舎全体を避難所の目的で維持・管理することは困難であることから、現時点では、体育館を避難所として活用していきたいと考えていますので、ご理解いただきますようお願いいたします。

②浄化槽の補助制度について

千々地区は各家庭で浄化槽を設置して、各自で管理しているが、浄化槽の管理費用がすごく高い。雲仙市のように費用の補助をしてもらえないか。

市の考え方・回答

ご意見で例に挙がりました、雲仙市では浄化槽の管理費用のうち「法定検査」と「清掃」について補助しており、一例として5人槽の場合、年額1万7千円を補助しています。

長崎市では管理にかかる補助は行っておりませんが、環境保全のため浄化槽の設置費にかかる補助について手厚く対応しており、特に下水道事業計画区域外（千々町を含む）における5人槽設置の場合74万6千円を上限に補助（雲仙市の場合上限49万8千円）するなど、浄化槽の普及促進のための補助制度については県内他市と比べても遜色ないものと考えております。



そのほか、「農業が楽しい、一生の職業にできるということをもっとPRしてほしい」、「農業新規参入のハードルは高いが、魅力はある。先進自治体を参考に支援を考えてほしい」、「地域活性化のためにも道路整備を進めてほしい」、「南小学校閉校後、合宿や会議などができる場所としてずっと使ってほしい」などのご意見をいただきました。

いただいたご意見は、担当部局と共有し、今後の市政運営に活かしていきます。

鈴木市長のひと言

中山間地のいろんなご苦労や農業の課題が改めて分かり、しっかりと考えていかないといけないというふうに思いを新たにしました。

また、移住された方の話を伺い、自治体が地域の皆様に寄り添いながら、一緒に地域課題に取り組んでいくことの大切さを感じました。



参加者からの感想

山がちで人が住むには厳しい地域でこれだけ人が住んで他の地域と変わらず生活できていることがすごいと思った。

親しみやすい市長さんでした。

住民の皆さんが抱えている不安や将来のことを聞けて良かった。

色々な意見が聞けて、とても勉強になった。

